

今後10年間の歳出の見通し（一般財源ベース）

（単位：億円）

項 目	2年度 当初予算 ①	3年度推計	4年度推計	5年度推計	6年度推計	7年度推計	8年度推計	9年度推計	10年度推計	11年度推計 ②	増減 ②－①	備考
人件費	1,509	1,500	1,510	1,500	1,510	1,500	1,480	1,500	1,480	1,490	△19	給与改定・定年延長の影響は見込まない 今後の退職者数に応じて退職手当を増減
扶助費	674	680	690	700	700	710	710	710	710	710	+36	保育所運営費や障害福祉関係給付費が増加 ※生活保護費の増は未反映
公債費	844	860	850	860	850	850	860	870	880	880	+36	公債費利子の利率は、年利0.5% (R2当初予算並)
投資的経費	154	180	220	190	200	200	200	200	200	200	+46	R6以降は、今後の公共施設等の老朽化対策 の需要増を加味し、200億円程度で推移する と想定
他会計繰出金等	870	910	920	900	900	940	930	940	950	960	+90	国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療 などが引き続き増加
その他	512	550	570	610	620	640	660	680	690	710	+198	政策的新規・充実事業予算として毎年15億円 を確保する前提
歳出所要一般財源 合計	4,563	4,680	4,760	4,760	4,780	4,840	4,840	4,900	4,910	4,950	+387	

※令和2年度当初予算は、資産有効活用等による財源確保額(20億円)を除いた数値

<ポイント>

今後も、社会福祉関連経費（扶助費、繰出金等）の増加や、公共施設等の老朽化対策費の増加をはじめ、歳出は引き続き、増加基調で推移

<留意点>

○上記の試算は、過去の伸び率等を基にした機械的な試算であり、新型コロナウイルスの感染拡大等によって見込まれる、今後の財政需要の増減等は反映していない。

○また、各年度の予算編成で実施する人件費の削減や事業見直し等の改革効果額（各年度の予算編成において決定）を反映していないため、特に「その他」の経費が試算上、大きく増加している。